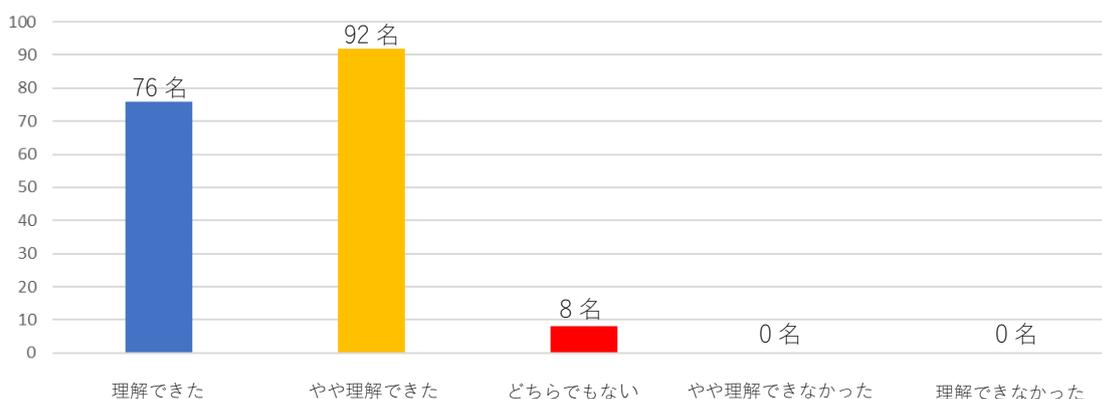


【オンデマンド配信】

アンケート1)『泌尿器・婦人科・腎臓内科』の講義に対する理解度



レポート提出176名中、9割以上の方が理解できたとご回答いただきました。

アンケート2) 本研究会のどのような点が特に役に立ちましたか (一例)

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

\*検査項目の理解と患者様のオーダーからドクターがどのような疾患を疑い検査を出しているのかを理解するために役立ちました。

\*知らなかったマーカーや普段あまりオーダーされない検査など、セミナー自体も少ない項目のことを学ぶ機会を得られて良かったです。

アンケート3) ご意見ご感想など (一例)

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

今回頂戴しましたご意見に対し、以下の通り、一部ご回答させていただきます。

**ご意見①**： レポート形式にすることにより勉強会で知り得た知識を確認やインプットさせることが出来ると思うので、レポート形式凄く感銘を受けました。

**回答①**： ご好評いただきありがとうございます。レポートに設問を掲載させていただいておりますので、振り返りも兼ねてご利用ください。また、レポートの提出により生涯教育点数付与をいたしております。

ご意見②：今後もオンデマンドでの開催を継続してほしいです。

回答②：今後の研究会について、オンデマンド配信を希望するご意見をたくさんいただきました。次回 2023 年 7 月研究会はオンデマンド配信で開催予定です。以後、開催形態は未定ですが、現地での開催も予想されます。オンデマンド配信に引き続き、ご都合の合う方は現地開催の研究会・講演会・基礎講座等へぜひご参加ください。

## 設問と回答

設問 1) PSA が上昇し得る状況として間違っているものを 1 つ選択してください

- ①採血前のランニング
- ②食後 (正答)
- ③長距離の運転
- ④触診後
- ⑤前立腺炎

設問 2) PSA グレーゾーン (4~10ng/mL) における有癌率は何パーセントか

- ①約 11%
- ②約 22%
- ③約 33% (正答)
- ④約 44%
- ⑤約 55%

設問 3) PSA F/T 測定について正しいものを一つ選択してください

- ①数値が上昇するほど前立腺癌の可能性が高い
- ②前立腺癌に対する特異度が高い検査である
- ③PSA F/T だけでも精度の高い結果が得られる
- ④カットオフ値は 4ng/mL 以下で設定されることが多い
- ⑤前立腺癌と前立腺肥大の鑑別 (正答)

設問 4) 女性ホルモンではない項目を一つ選択してください

- ①プロゲステロン
- ②テストステロン (正答)
- ③エストロゲン
- ④FSH
- ⑤LH

設問5) 間違っているものを一つ選択してください

- ①子宮壁に平滑筋腫が発生・増大した疾患を子宮筋腫という
- ②子宮腺筋症は子宮筋腫を合併する場合がある
- ③子宮内膜増殖症は悪性化すると子宮頸癌に移行する可能性がある (正答)
- ④子宮頸癌の多くは扁平上皮癌である
- ⑤子宮体癌の多くは腺癌である

設問6) 正しいものを一つ選択してください

- ①CA125 は子宮内膜症で値が低下する
- ②HE4 は CA125 と相関性が高い
- ③CEA は臓器特異性が高い
- ④CA19-9 は悪性疾患の場合のみ値が上昇する
- ⑤CA72-4 は卵巣癌への特異性が高い (正答)

設問7) 慢性腎臓病 (CKD) は腎障害が〇〇以上続くことによって診断される。〇〇に入る期間はどれか

- ①1 週間
- ②1 ヶ月
- ③3 ヶ月 (正答)
- ④6 ヶ月
- ⑤1 年

#### <まとめ>

2023年4月研究会は昨年に引き続きオンデマンド配信にて実施させていただきました。事前申し込み 281名に対して、176名(うち県内98名、県外78名)の方がレポートを提出してくださいました。

今回は『泌尿器・婦人科・腎臓内科』をテーマに挙げ、腫瘍マーカーなど検査値の解釈の仕方や症例について、初心者からベテランの方まで分かり易い内容でお届けさせていただきました。

ルーチンで目にする項目について、改めて振り返ることで曖昧だった知識を定着させ、加えて新たな情報を得ることができた研究会でした。PSA F/T 測定や腫瘍マーカー、CKD・AKIに関するご意見をたくさんいただき、ご好評いただけたことを実感しています。研究会へのご参加、またレポートによるたくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

今回の研修会が皆様のご施設の精度維持・向上の一助となれば幸いに存じます。引き続き愛知県臨床検査技師会生物化学分析検査研究班をよろしく願いいたします。

以上

作成・回答編集・問い合わせ先：生物化学分析検査研究班

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 中央検査科

伊藤 綾香

TEL：052-721-7171

E-MAIL：emc2206@nagoya-cu.ac.jp